

1 磐田市の雇用について

新たな産業拠点の展開や新産業の創出に積極的に取り組み、雇用の創出に成功していると思われる磐田市。企業誘致や次世代農業事業者の誘致が進み雇用の創出が拡大していると思われます。今後の少子高齢化社会における担い手不足への対応を憂慮し、以下質問します。

(1) 最近の雇用情勢と今後の対応について

- ① 磐田市および周辺地域の企業の雇用状況と『がんばる企業応援団』等、企業訪問における「雇用についての企業からの声」とその認識を伺います。
- ② 磐田市の障害者雇用、高齢者雇用の状況と推進施策、課題と今後の推進に対する認識を伺います。
- ③ 今後の担い手不足の時代を迎える上で、雇用施策に対し、庁内連携をいかに図り対応していくのか見解を伺います。
- ④ 今後の「一億総活躍社会」実現へ向けた市の雇用施策の今後の方向性を伺います。

2 森林の環境保全と防災について

森林は、治山や水源涵養・燃料や生活資材・林産物などを広く供給してくれる資源として大切に扱われてきました。しかし時代とともに木材需要、木材自給率が低下し、森林整備に手が届かなくなるといった悪循環を抱えています。磐田市は、総面積の16,408haのうち2,572haが森林面積であり総面積の約16%を占めています。その割合は決して多いとは言えませんが、本来のあるべき循環型社会や将来に渡っての環境保全を願い、以下質問します。

(1) 森林整備・保全について

今、森林を地域資源と捉え、活かす取り組みが進んできています。林業や木材産業で地域創生を進める自治体、森林・林業を活用した地域振興を図る自治体、地域材の地産地消で里山の再生を行う自治体などなど。磐田市も、トレッキングコースの整備などを行い、山の更なる活用も期待されます。また、磐田市森林整備計画を作成し、森林整備を進めてきています。

- ① 森林整備と森林資源の活用についての現状と課題を伺います。
- ② 森林整備と森林資源の活用に向けた民間活力の活用について見解を伺います。
- ③ 森林環境を生かした山の活用について今後の展望を伺います。
- ④ 県が導入している「森林づくり県民税」の磐田市の実績と、今後、国が導入を予定している「森林環境譲与税」の効果的活用についての見解を伺います。

(2) 土砂災害対策について

梅雨時期を迎え、山地災害が一番発生しやすい季節となってきました。磐田市も平成22年に土砂災害警戒区域の指定がなされ、現在、土砂災害警戒区域342カ所、土砂災害特別警戒区域310カ所が指定されています。

これから土砂災害が多い時期を迎え、確認も含め以下質問します。

- ① 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の安全対策について伺います。
- ② 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の中で特質した地質・地形・植生等の状況があるのか伺います。
- ③ 山地災害危険地区における治山事業の現状、考え方を伺います。
- ④ 災害発生時または災害警戒時の自治会・市民への情報伝達や避難体制など具体的対応方法を伺います。また、土砂災害警戒情報が発令されない状況での土砂災害の防止・減災について考えと対応について見解を伺います。

⑤ 山の荒廃が山地災害を発生しやすい状況を作ります。

減災や災害を防ぐための森林保全。今後の方向性と課題を伺います。